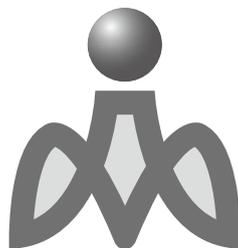


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔平成28年7月～9月実績〕
〔平成28年10月～12月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調査要領	1
II 景況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景況概観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景況概観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景況概観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景況概観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第2四半期 平成28年7月～9月期 「調査時点：平成28年9月1日」

3. 調 査 方 法

県下の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韭 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

①本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

②次頁【II】1. 産業全体の業況概観については、商工会調査企業だけではなく、他の本県経済団体調査企業（卸売業を含む）を含んだ286サンプルによるものである。

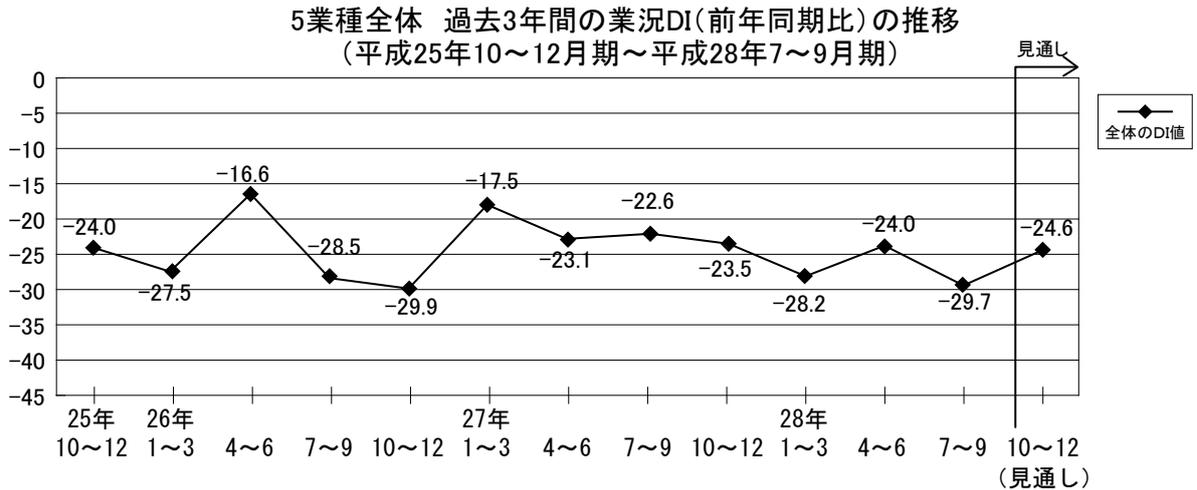
【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみる。

まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DIは、▲29.7と前期比で5.7ポイント悪化している。

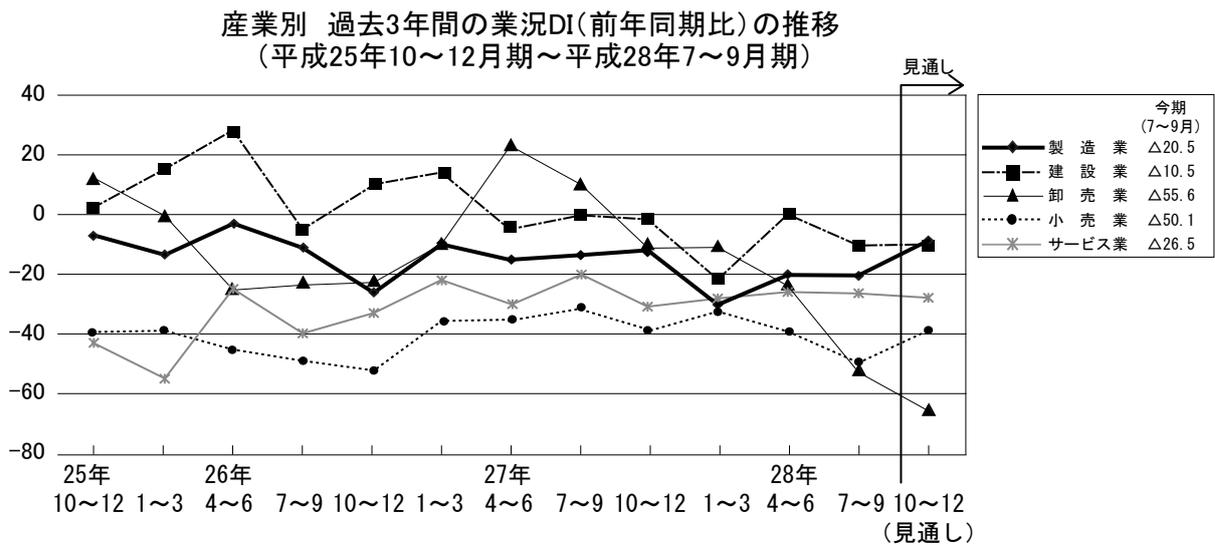
一方、来期については、▲24.6と改善の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

製造業が▲20.5と前期比で1.6ポイント改善している。一方、建設業が▲10.5と前期比で10.5ポイント、卸売業が▲55.6と前期比で33.4ポイント、小売業が▲50.1と前期比で11.0ポイント、サービス業が▲26.5と前期比で2.7ポイント悪化している。

来期は、製造業、小売業が改善見通しである一方、建設業、卸売業、サービス業が悪化見通しである。



【注記】上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの121企業を含めた286サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

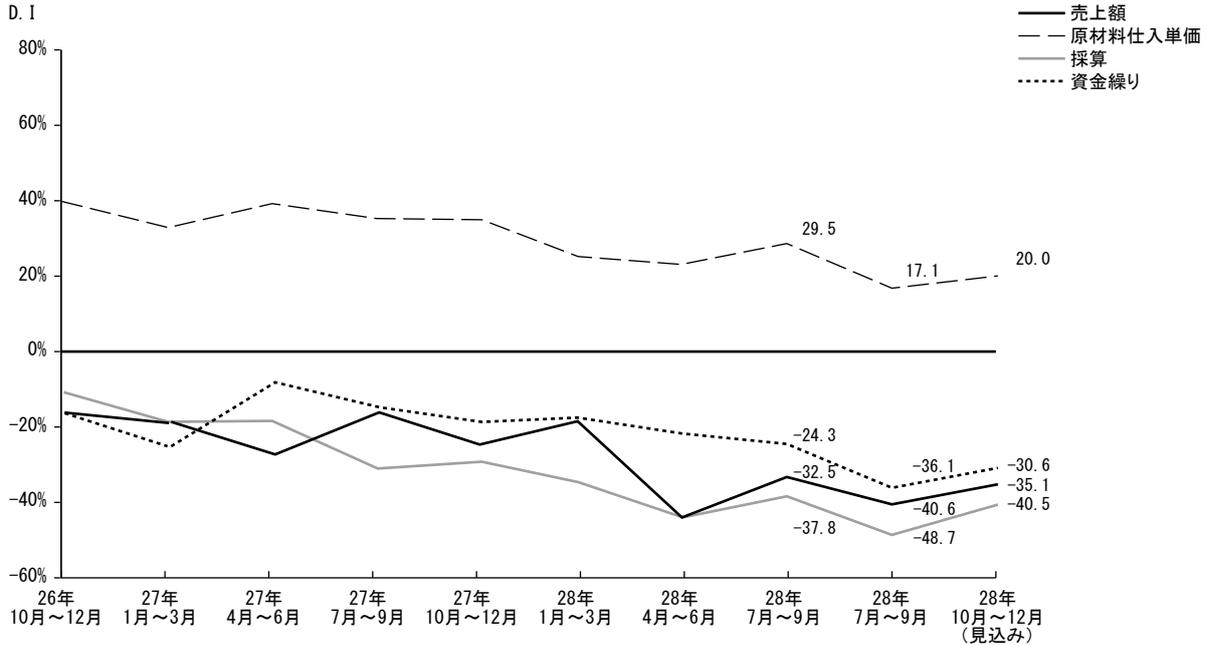
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲40.6と前期比で8.1ポイント悪化している。来期は▲35.1と改善する見通しである。原料仕入単価D Iは、今期は17.1と前期比で12.4ポイント減少（改善）している。一方、来期は20.0と上昇（悪化）する見通しである。採算D Iは、今期は▲48.7と前期比で10.9ポイント悪化している。一方、来期は▲30.6と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲36.1と前期比で11.8ポイント悪化している。一方、来期は▲30.6と改善する見通しである。

今期は、原料仕入単価D Iを除いて悪化している。一方、来期は、原料仕入単価D Iを除いて改善する見通しである。

山梨県 製造業D I 主要景況項目の推移—前年同期比—



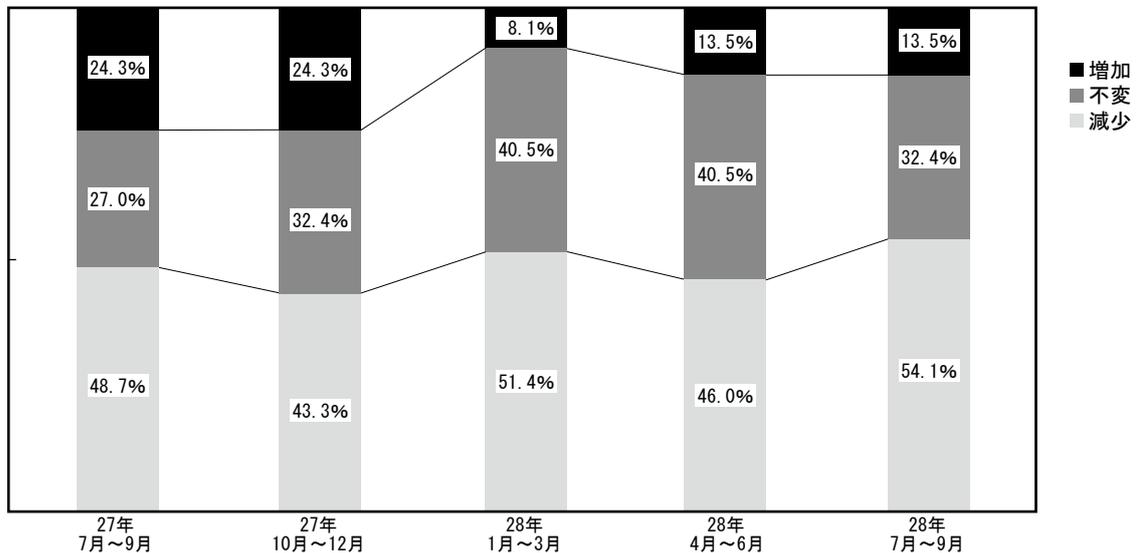
(2) 主な項目で見る業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数 37社））

「増加」と答えた企業の割合は、13.5%（5社）と横ばい（前期比±0社）となっている。

「不変」は32.4%（12社）と減少（前期比▲3社）、「減少」は54.1%（20社）と増加している（前期比+3社）。

山梨県 製造業 売上額の状況—前年同期比—

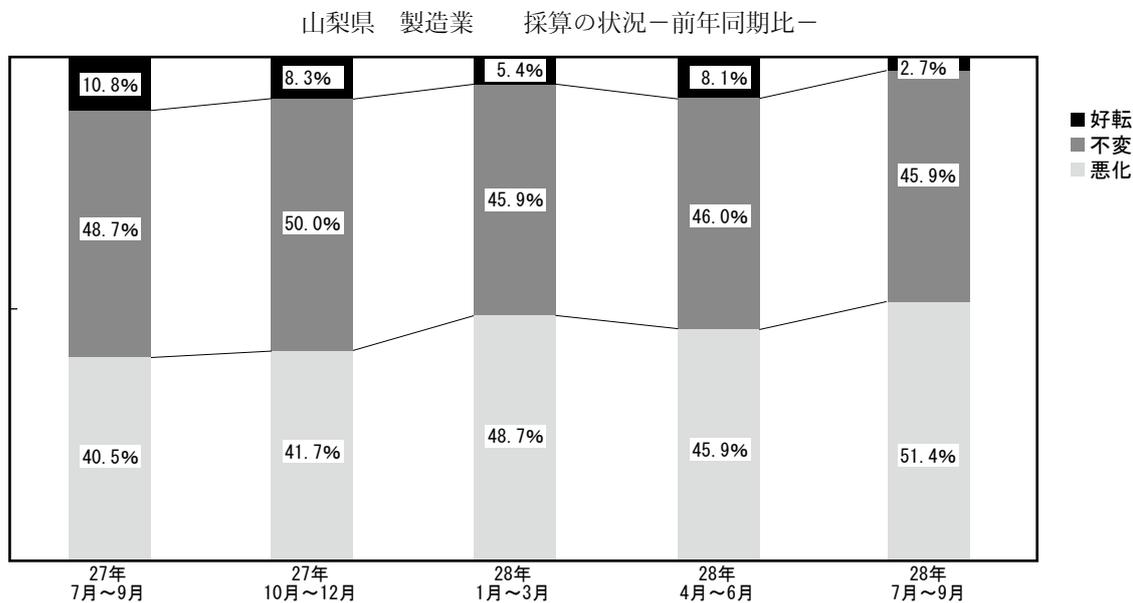


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 37 社）

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.7%（1社）と減少している（前期比▲2社）。

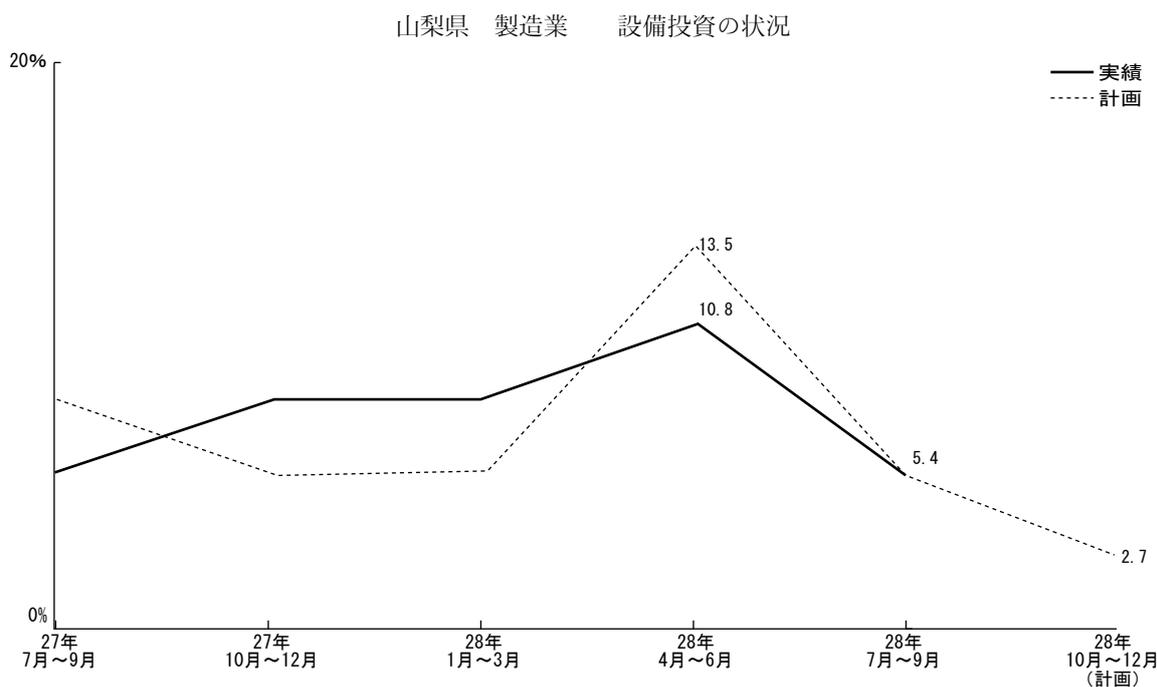
「不変」は45.9%（17社）と横ばい（前期比±0社）、「悪化」は51.4%（19社）と増加している（前期比+2社）。



③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 37 社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は5.4%（2社）であった。（前期比▲5.4ポイント）

その設備投資の内容は、「生産設備」が2件、「工場建物」、「車両運搬具」、「OA 機器」が1件ずつであった。来期の計画については、2.7%（1社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」が1件になる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 32 社）

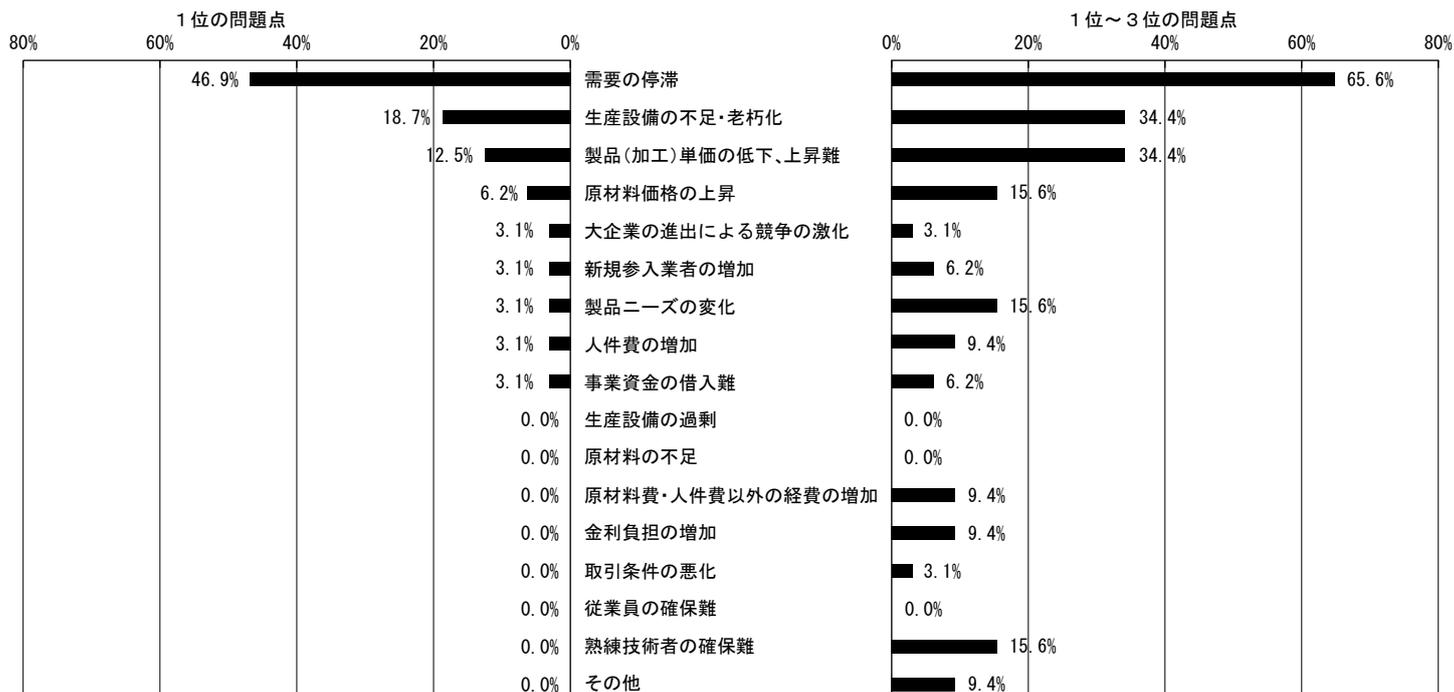
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 46.9%（15 社）であり、2 番目は、「生産設備の不足・老朽化」の 18.7%（6 社）である。そのあと、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の 12.5%（4 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものを見る。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 65.6%（21 社）であり、2 番目は、「生産設備の不足・老朽化」、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の 34.4%（11 社）である。そのあと、「原材料価格の上昇」、「製品ニーズの変化」、「熟練技術者の確保難」の 15.6%（5 社）が続く。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	6	16.2
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	2	5.4
輸送用機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	5	13.5
合計	37	100.0

従業員規模別

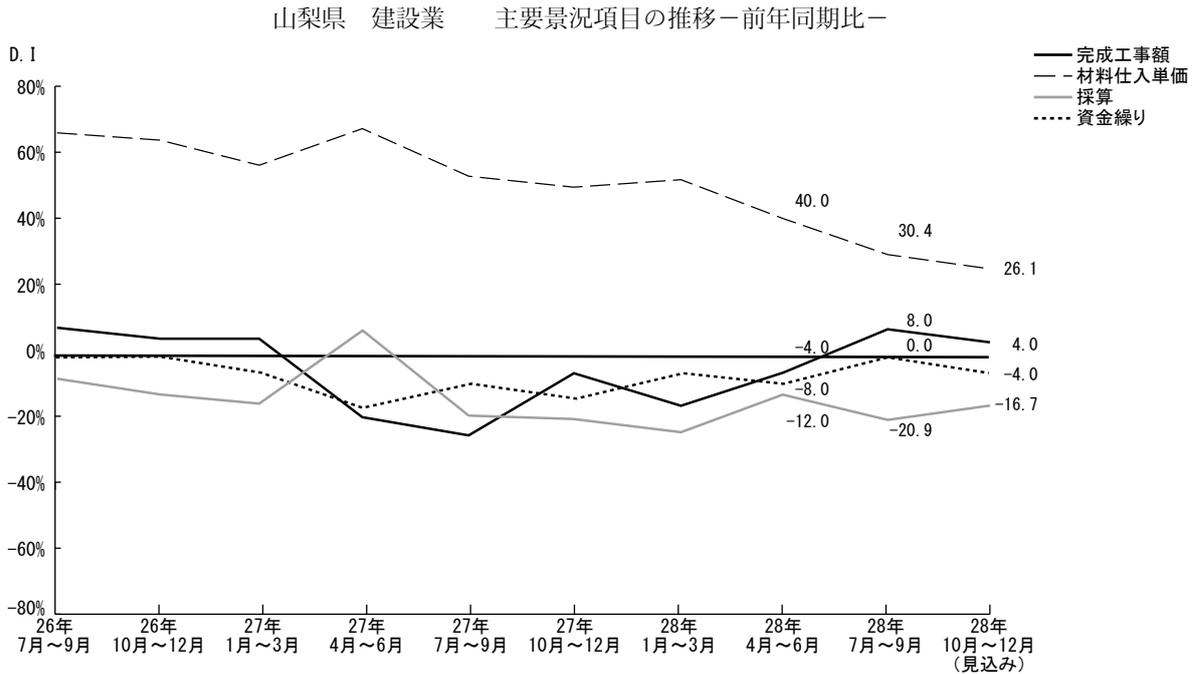
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)
2 人以下	24	64.9	20	54.1
3 人～5 人以下	5	13.5	5	13.5
6 人～10 人以下	4	10.8	7	18.9
11 人～20 人以下	4	10.8	5	13.5
合計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は8.0と前期比で12.0ポイント改善している。来期は4.0と悪化する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は30.4と前期比で9.6ポイント低下（改善）している。来期は26.1と更に低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲20.9と前期比で8.9ポイント悪化している。一方、来期は▲16.7と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲0.0と前期比で8.0ポイント改善している。一方、来期は▲4.0と悪化する見通しである。

今期は、採算D Iを除いて改善している。来期は、採算D Iが改善する一方、完成工事額D I、資金繰りD Iが悪化する見通しである。

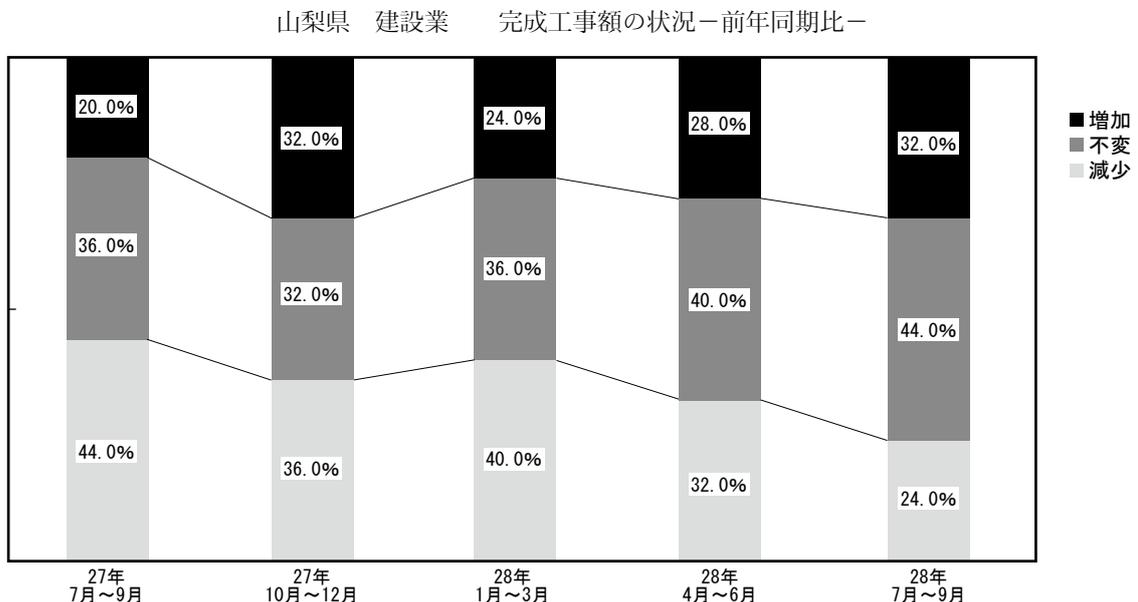


(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数 25社））

「増加」と答えた企業の割合は、32.0%（8社）と増加している（前期比+1社）。

「不変」は44.0%（11社）と増加し（前期比+1社）、「減少」は24.0%（6社）と減少している（前期比▲2社）。



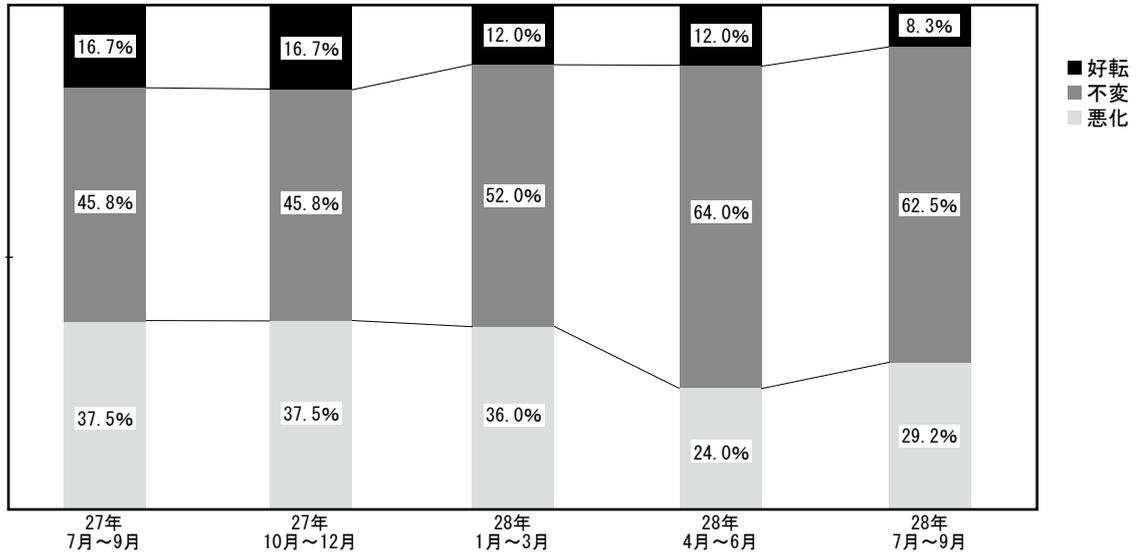
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数 24社（前期 25社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.3%（2社）と減少している（前期比▲1社）。

「不変」は62.5%（15社）と減少（前期比▲1社）し、「悪化」は29.2%（7社）と増加している（前期比+1社）。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－



③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 25社））

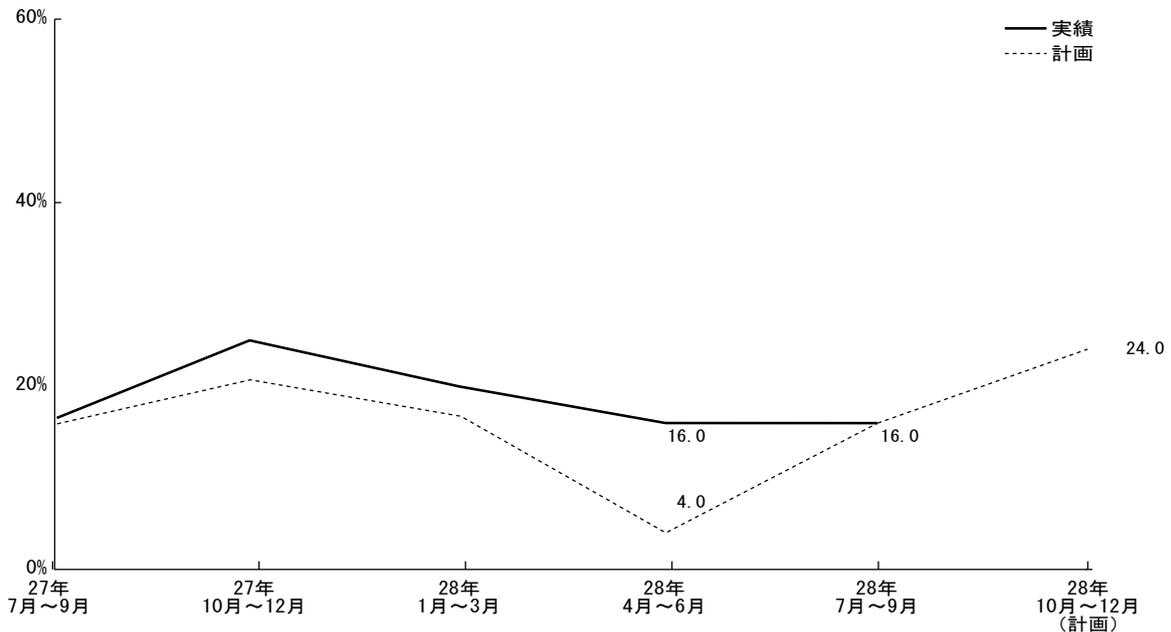
今期において、設備投資を行った企業の割合は16.0%（4社）であった。（前期比±0ポイント）

その設備投資の内容は、「車両運搬具」が3件、「OA機器」が2件、「建設機械」が1件であった。

来期の計画については、24.0%（6社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「土地」、「建設機械」、「車両運搬具」が2件ずつ、「建物」、「その他」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数 24 社）

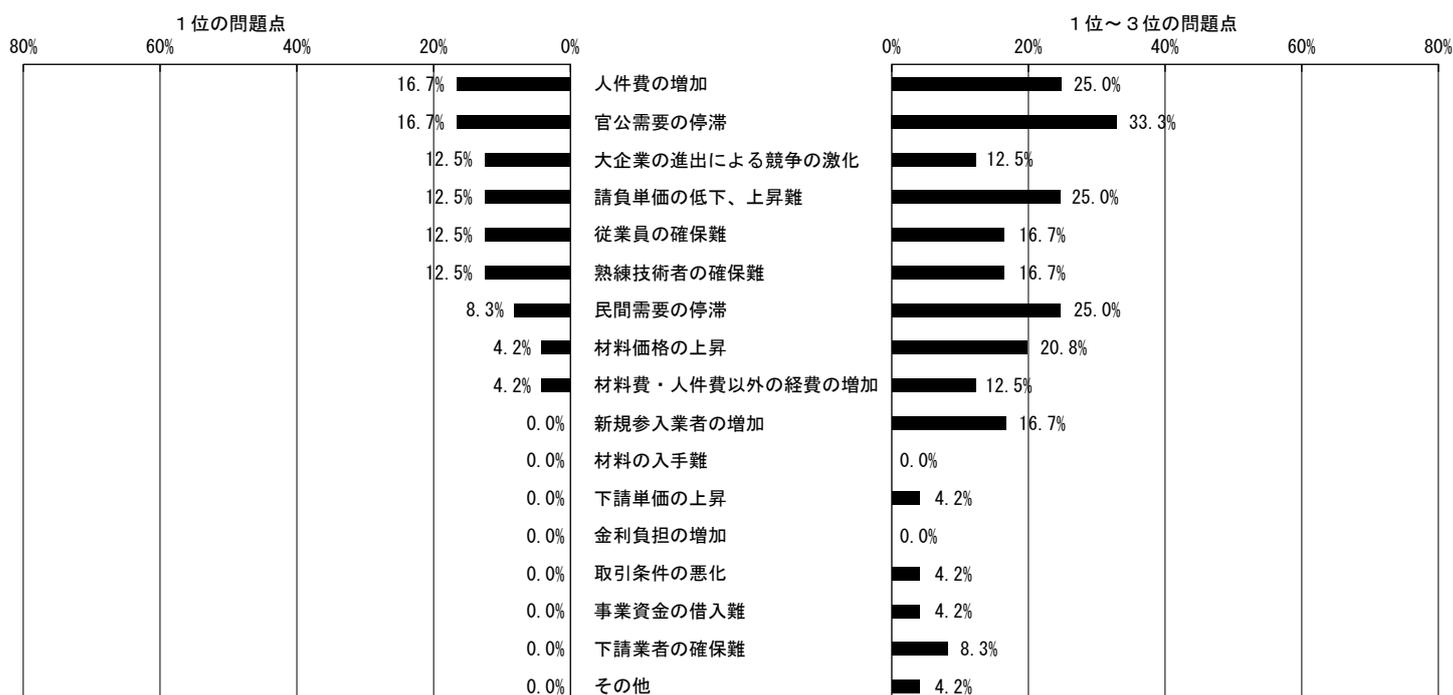
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「人件費の増加」、「官公需の停滞」の 16.7%（4 社）であり、2 番目に多かったのは、「大企業の進出による競争の激化」、「請負単価の低下、上昇難」、「従業員の確保難」、「熟練技術者の確保難」の 12.5%（3 社）である。そのあと、「民間需要の停滞」8.3%（2 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「官公需の停滞」の 33.3%（8 社）であり、2 番目に多かったのは、「人件費の増加」、「請負単価の低下、上昇難」、「民間需要の停滞」の 25.0%（6 社）である。そのあと、「材料価格の上昇」の 20.8%（5 社）が続く。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合計	25	100.0

従業員規模別

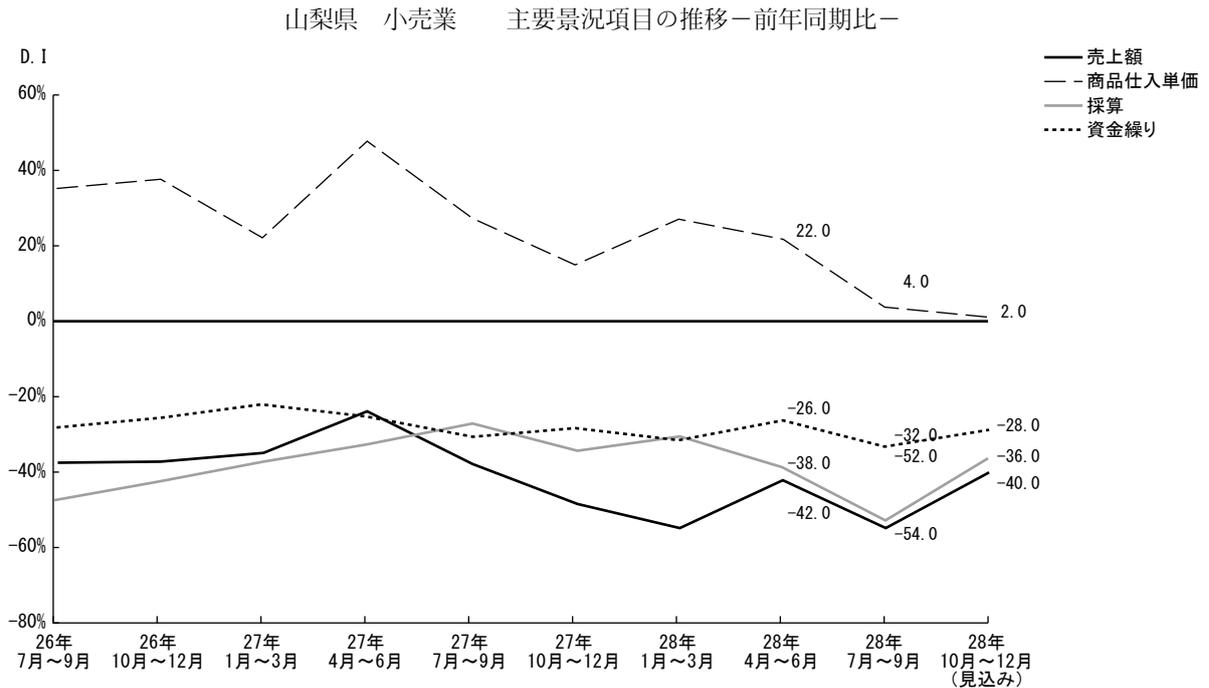
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常 雇 い		企業数	構成比(%)
2 人以下	9	36.0	7	28.0
3 人～5 人以下	7	28.0	8	32.0
6 人～10 人以下	4	16.0	5	20.0
11 人～20 人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100.0	25	100.0

4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲ 54.0と前期比で12ポイント悪化している。来期は▲ 40.0と改善する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は4.0と前期比で18.0ポイント低下（改善）している。来期は2.0と更に低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲ 52.0と前期比で14.0ポイント悪化している。一方、来期は▲ 36.0と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲ 32.0と前期比で6.0ポイント悪化している。一方、来期は▲ 28.0と改善する見通しである。

今期は、商品仕入単価D Iを除いて悪化している。一方、来期は、全てのD Iが改善する見通しである。

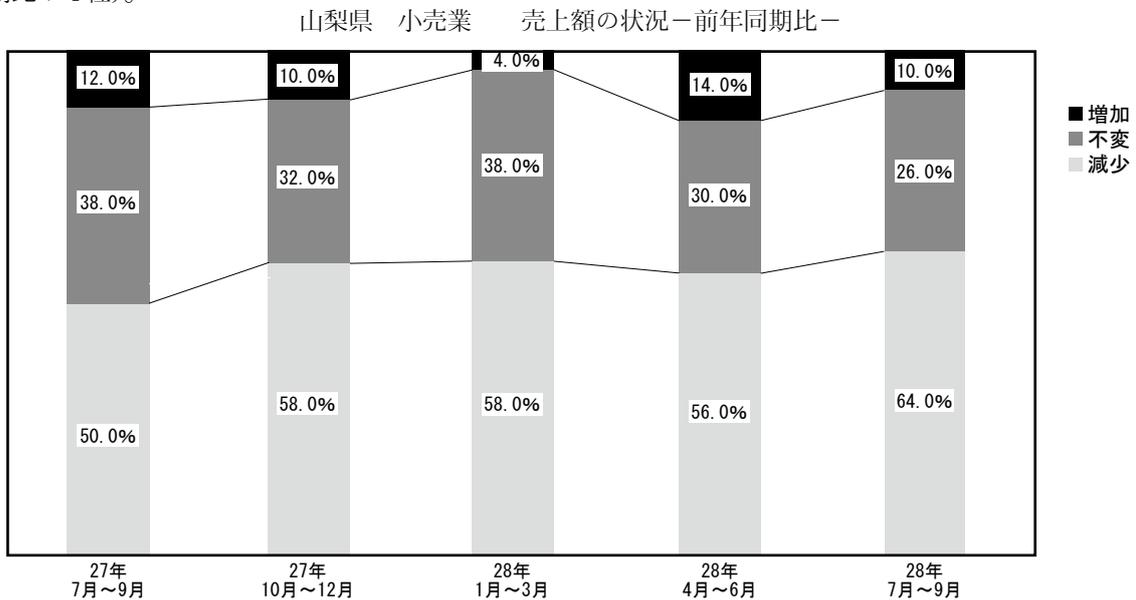


(2) 主な項目で見る業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、10.0%（5社）と減少している（前期比▲ 2社）。

「不変」は26.0%（13社）と減少し（前期比▲ 2社）、「減少」は64.0%（32社）と増加している（前期比+ 4社）。

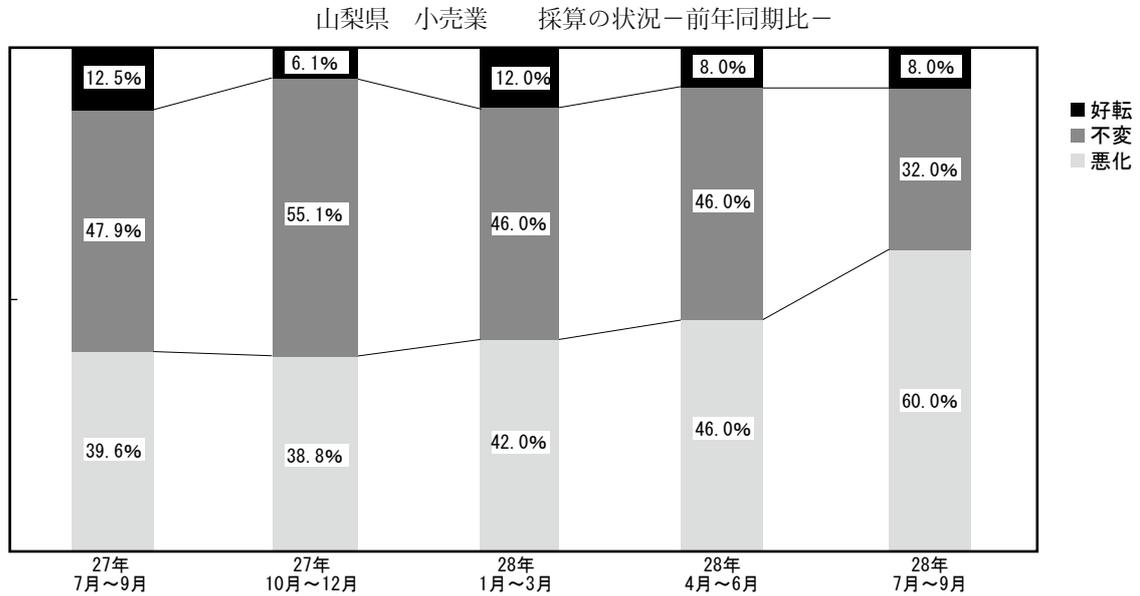


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 50 社）

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（4社）と横ばいとなっている（前期比±0社）。

「不変」は32.0%（16社）と減少し（前期比▲7社）、「悪化」は、60.0%（30社）と増加している（前期比+7社）。



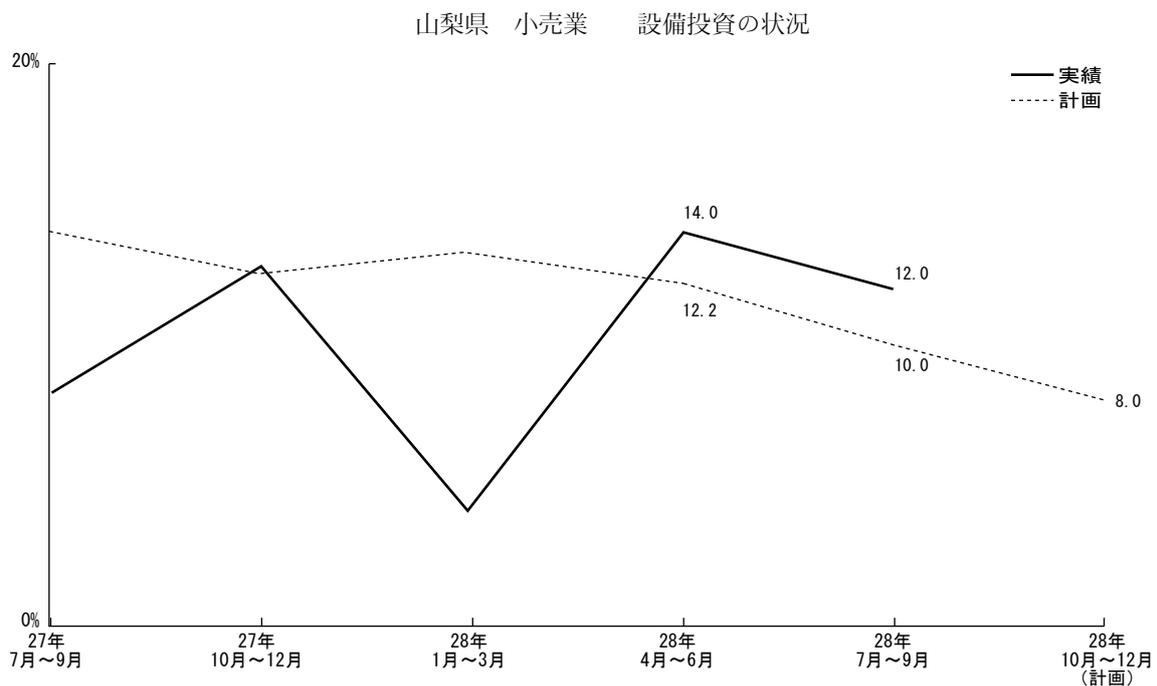
③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 50 社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は12.0%（6社）であった。（前期比▲2.0ポイント）

その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「店舗」、「販売設備」、「OA 機器」、「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、8.0%（4社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「販売設備」が3件、「その他」が1件になる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 46 社）

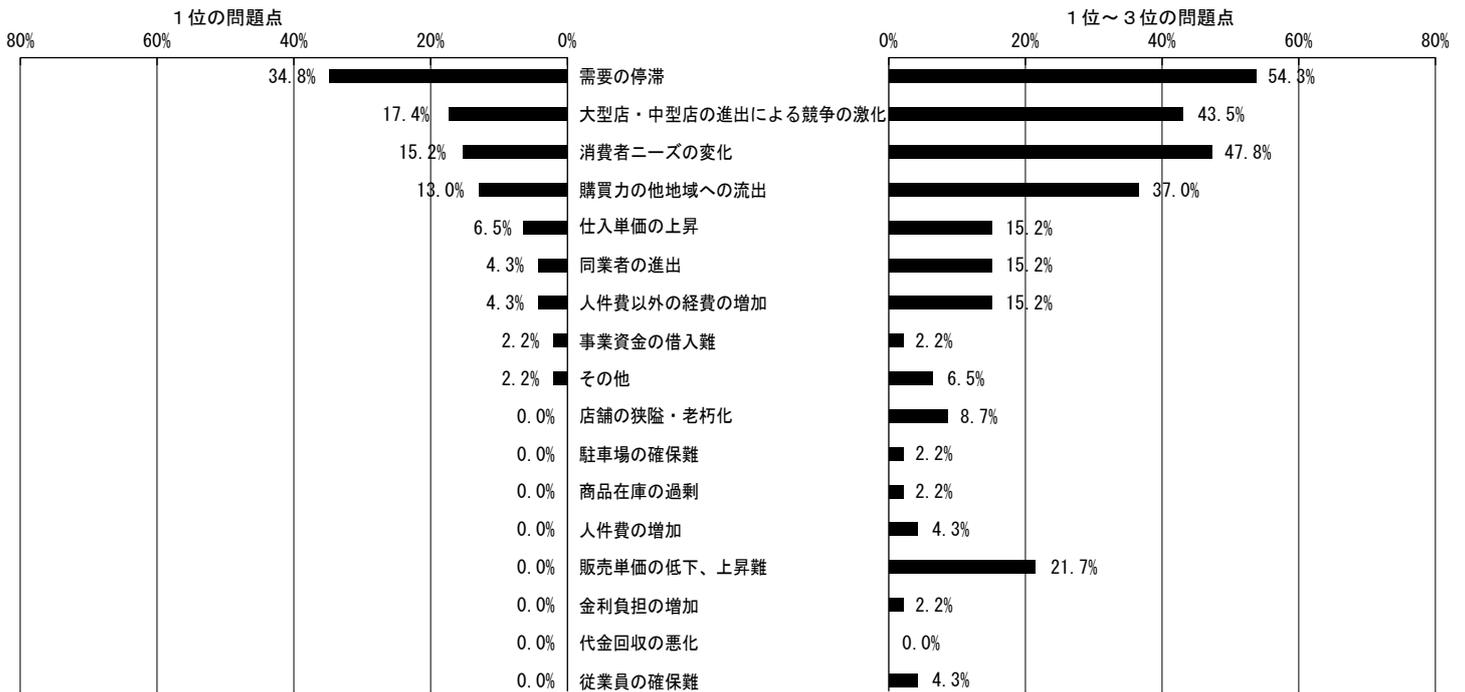
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 34.8%（16 社）であり、2 番目に多かったのは、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の 17.4%（8 社）である。そのあと、「消費者ニーズの変化」の 15.2%（7 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものを見る。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 54.3%（25 社）であり、2 番目に多かったのは、「消費者ニーズの変化」の 47.8%（22 社）である。そのあと、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の 43.5%（20 社）が続く。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	12	24.0
飲食料品小売業	16	32.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	16	32.0
合計	50	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)
2 人以下	46	92.0	40	80.0
3 人～5 人以下	4	8.0	10	20.0
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

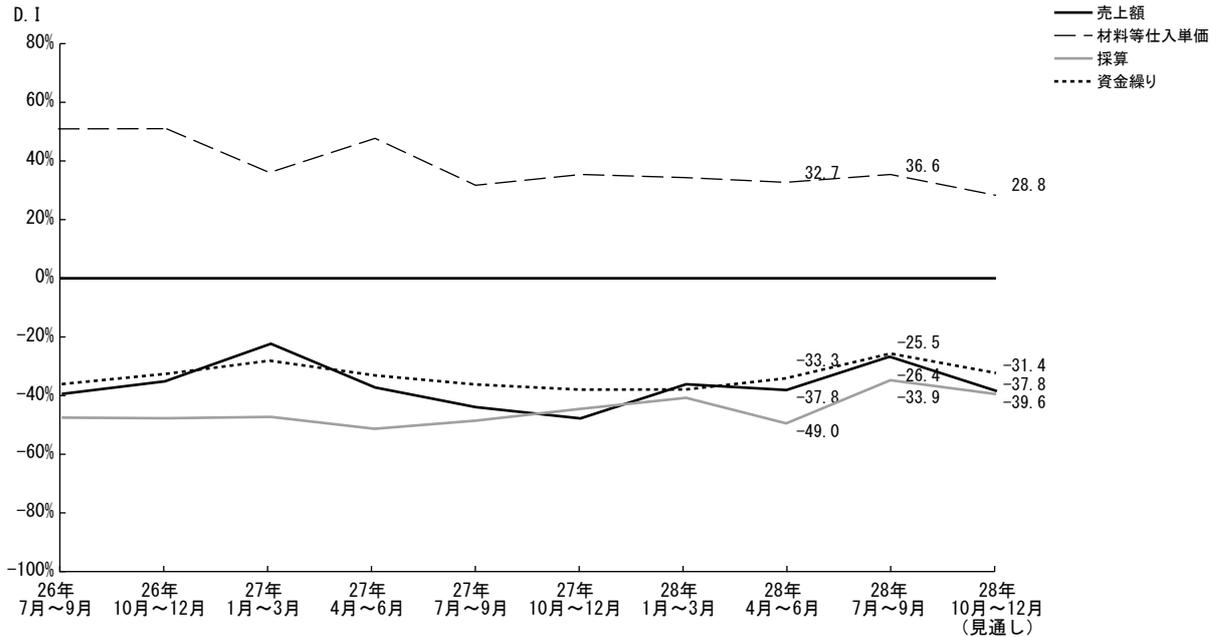
5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲26.4と前期比で11.4ポイント改善している。来期は▲37.8と悪化する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は36.6と前期比で3.9ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は28.8と低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲33.9と前期比で15.1ポイント改善している。一方、来期は▲39.6と悪化する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲25.5と前期比で7.8ポイント改善している。来期は▲31.4と悪化する見通しである。

今期は、材料等仕入単価D Iを除いて改善している。一方、来期は、材料等仕入単価D Iを除いて悪化する見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移－前年同期比－



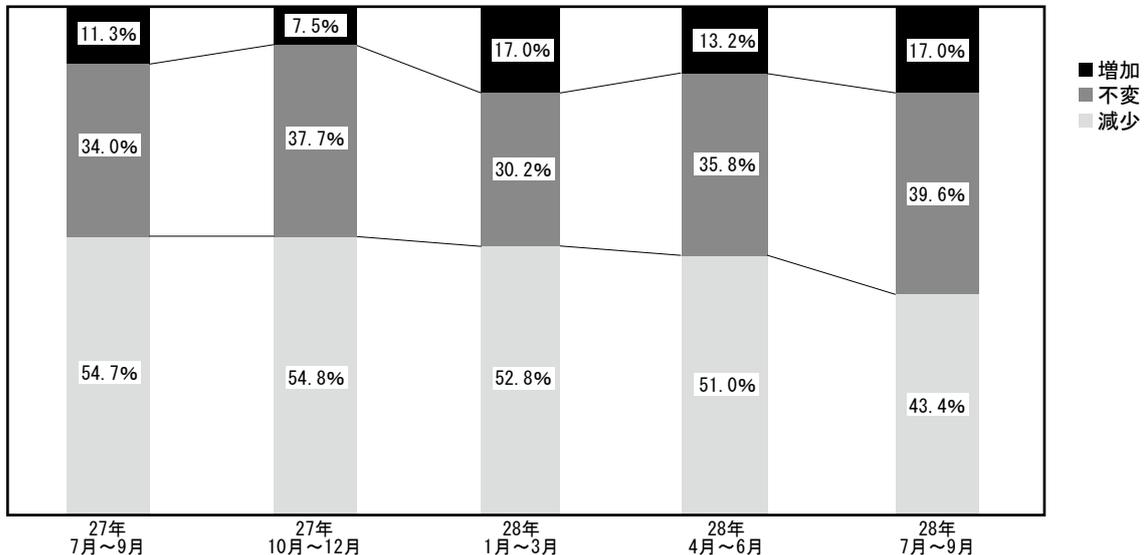
(2) 主な項目で見る業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、17.0%（9社）と増加している（前期比+2社）。

「不変」は39.6%（21社）と増加し（前期比+2社）、「減少」は43.4%（23社）と減少している（前期比▲4社）。

山梨県 サービス業 売上額の状況－前年同期比－

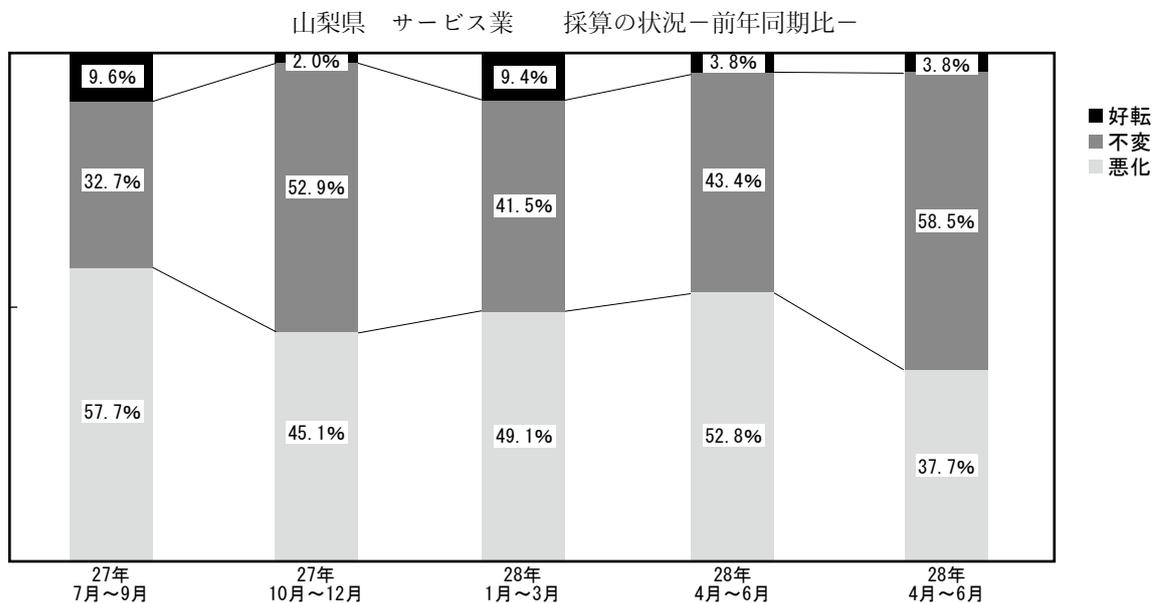


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 53社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.8%（2社）と横ばいとなっている（前期比±0社）。

「不変」は58.5%（31社）と増加し（前期比+8社）、「悪化」は37.7%（20社）と減少している（前期比▲8社）。



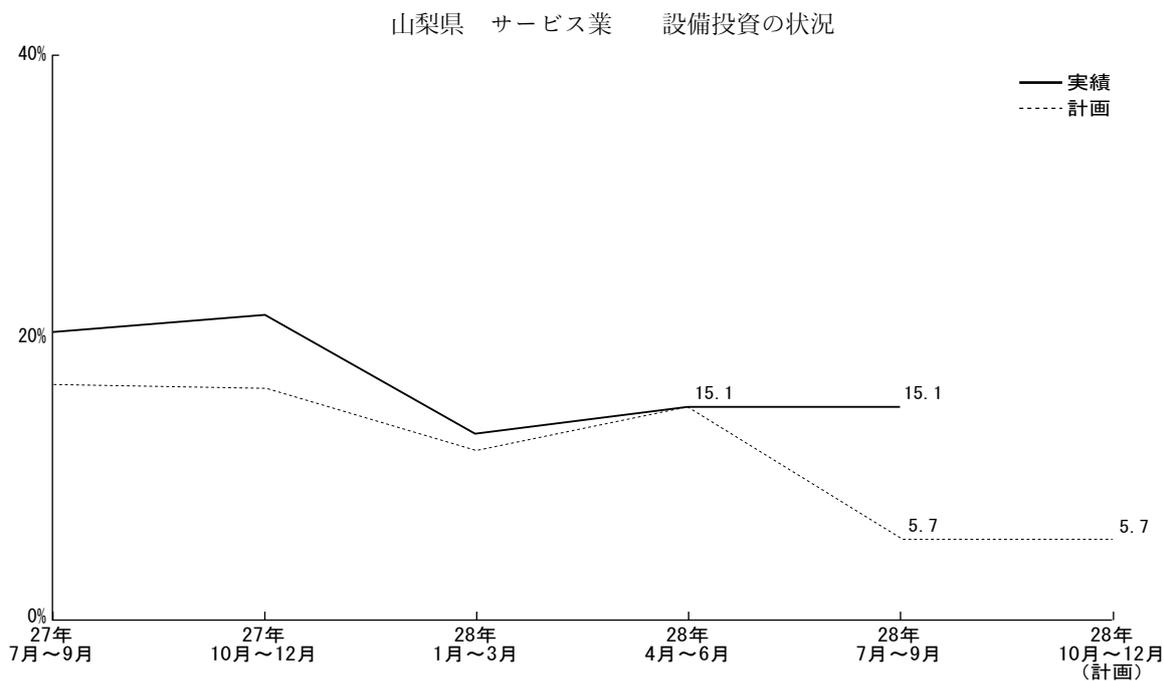
③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は15.1%（8社）であった。（前期比±0ポイント）

その設備投資の内容は、「車両運搬具」が3件、「サービス」、「付帯施設」、「OA機器」が2件ずつ、「その他」が1件であった。

来期の計画については、5.7%（3社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「建物」、「車両運搬具」、「付帯設備」、「OA機器b」が1件ずつになる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 48 社）

まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

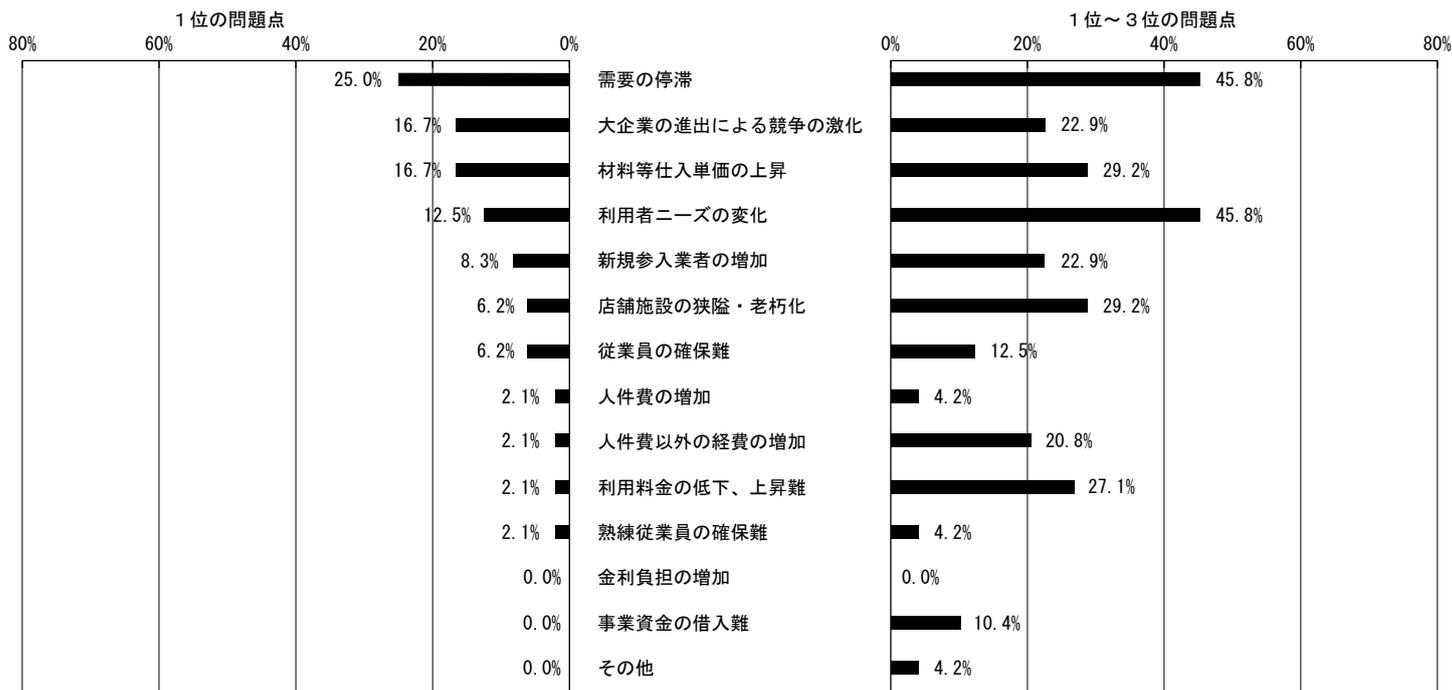
1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の25.0%（12社）であり、2番目に多かったのは、「大企業の進出による競争の激化」、「材料等仕入単価の上昇」の16.7%（8社）である。そのあと、「利用者ニーズの変化」の12.5%（6社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」、「利用者ニーズの変化」の45.8%（22社）であり、2番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」、「店舗施設の狭隘・老朽化」の29.2%（14社）である。

そのあと、「利用者料金の低下、上昇難」の27.1%（13社01）(m)、が続く。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	20	37.7
宿泊業	8	15.1
運送業	2	3.8
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	16	30.2
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇	い	企業数	構成比(%)
2 人以下	44	83.0	40	75.5
3 人～5 人以下	9	17.0	13	24.5
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0